

家畜衛生情報

東部地域畜産経営技術推進指導協議会
6 6 9 号
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所

2025. 2. 10

令和 6 年度富山県畜産関係業績・
成果発表会が開催されました..... 1
高病原性鳥インフルエンザの発生が急増して
います！最大限の警戒をお願いします ... 2~3
違法畜産物の海外からの持ち込みが
過去最多に..... 3
令和 6 年度富山県畜産関係業績・
成果発表会 概要 4

牛乳消費キャンペーン「牛乳祭 in 銭湯」
が開催されました..... 5
ランピースキン病 国内の発症頭数
ゼロに..... 5
防疫情報 5~6
お知らせ 6

令和 6 年度富山県畜産関係業績・成果発表会が開催されました



発表会の様子

1 月 31 日、富山県農協会館にて令和 6 年度富山県畜産関係業績・成果発表会が開催され、家畜保健衛生所から 11 題、農業技術課広域普及指導センターから 1 題、農林水産総合技術センター畜産研究所から 2 題の演題が発表されました。

開催にあたっては、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 疾病対策部長の高木道浩先生を助言者としてお招きし、発表された各演題に貴重なご助言を頂きました。

また、家畜保健衛生所の部においては、東部家保の竹中主任と山口主任、西部家保の増永係長が発表した 3 演題が、令和 7 年度に岐阜県で開催される第 66 回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会での演題として選出されました。県を代表して素晴らしい発表を期待しています。(関連記事 4 ページ)

(西部家保環境課 粕谷課長)

高病原性鳥インフルエンザの発生が急増しています！ 最大限の警戒をお願いします

高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は、今シーズン、これまでに14道県51農場（2月4日現在）で発生が確認されています。特に1月以降は養鶏の密集地域において発生が連続し、5県35事例と過去にない勢いで急増しており、1月における発生件数及び殺処分羽数はR4～5シーズンを上回る状況となりました（下図）。（関連記事5～6ページ）

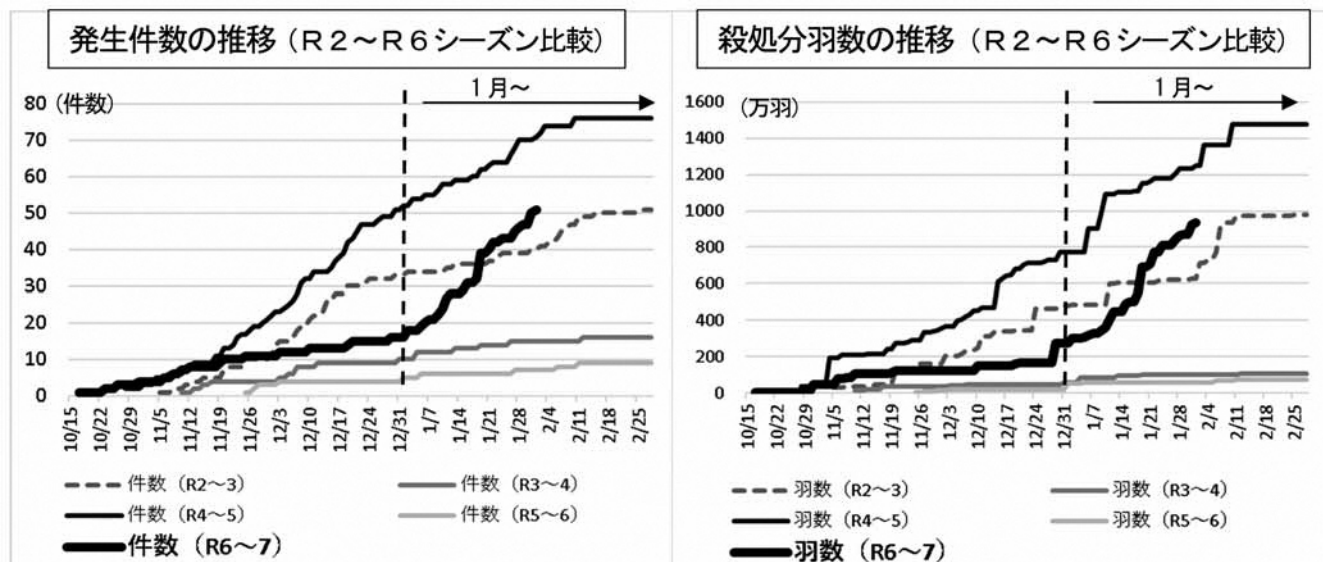


図 高病原性鳥インフルエンザの過去シーズン（R2～R6）との発生状況の比較

HPAIのまん延を防止するために重要なことは第1に「早期の通報」です。発生農場における早期封じ込めが極めて重要であり、農場において飼養家さんの死亡の増加等の異状を早期に発見し、発生が確認された場合における迅速な防疫措置を徹底する必要があります。しかし、今シーズンの発生事例においては、農場から家畜保健衛生所への早期通報が行われなかった事例（特定症状に該当していたにも関わらず死亡が100羽を超えるまで通報されなかったなど）も見られています。早期発見及び早期通報が適切に行われなければ、迅速な防疫措置を講ずることができず、地域におけるまん延リスクを高めることになります。また、異状の早期発見・早期通報が行われなかった場合は、発生時に交付される手当金が減額される可能性があります。

第2にHPAIの発生予防として「消毒の徹底・ウイルスの侵入防止対策」が重要です。農場内外における頻回消毒を行うとともに、家きん舎・堆肥場への防鳥ネット設置・破損の修繕、死亡鳥や廃棄卵の適切処理、こぼれ餌の清掃等を行いカラス等の野生動物の誘引防止対策を強化してください。特に、近年カラス類からのHPAIウイルスの検出が多く確認されており、農場に飛来するカラスの数を減らすことは、HPAI発生リスクの低減につながります。さらに、入気口へのフィルターの設置や細霧装置の設置など飼養衛生管理基準よりも一段踏み込んだ対策を行うことも望まれます。

第3に「点検」です。出入りする車両の動線調整（不要不急の通行の回避、周辺地域の迂回の検討）や、従業員だけでなく事業者も含めた例外なき入場者の衛生対策（衣服・長靴交換、手指消毒等の徹底）等、農場にHPAIウイルスが入り込む「隙」がないか衛生管理をもう一度点検してください。

改めまして家きん飼養者の皆様におかれましては、自農場の衛生管理を徹底していただき、「絶対に発生させない」という気持ちのもと、より一層の防疫強化をお願いします。再三のお願いとなりますが、飼養する家きんの健康状態について注意深く観察していただき、死亡羽数増加はもちろんのこと、産卵率の低下、固まって死亡といった異状がみられた場合には、家畜保健衛生所まで早期に通報をお願いします。



具体的な対策のポイント

- ◆ 鶏の様子が少しでもおかしいと感じたら家畜保健衛生所に連絡を！
- ◆ 農場周辺にウイルスが大量に存在しているので、入退場時や敷地周辺の消毒により人・車両・塵埃によるウイルス持ち込み防止を徹底！
- ◆ 防鳥ネットの設置・修繕、隙間の穴埋めなど、カラス等の野鳥、野生動物侵入防止対策を再点検！



車両・手指・
物品消毒の徹底



集卵ベルト等の
開口部の隙間対策



防鳥ネットや
鶏舎破損の補修

出典：農林水産省

農林水産省のHPに1月20日に開催されました「令和6年度高病原性鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議」の資料が掲載されています。防疫対策のポイント等もありますので、自農場の衛生管理の強化の参考としてください。



全国会議資料 PDF

(西部家保防疫課 小林主任)

違法畜産物の海外からの持ち込みが過去最多に

令和7年1月28日、韓国の養豚場で同国51例目となるアフリカ豚熱が発生しました。韓国では令和6年1月以降だけでも、養豚場で13例のアフリカ豚熱が確認されており、依然としてその発生が続いています。

アフリカ豚熱の病原体は、海外から持ち込まれる畜産物に付着し、国内に侵入するおそれがあります。そこで我が国では、豚、いのしし由来の畜産物の輸入禁止地域を定めており、アフリカ豚熱が流行しているアジア地域からの輸入は原則全面的に禁止されています。

動物検疫所では、海外からの旅行者の携帯品に対して検疫を実施し、輸入禁止畜産物の摘発を行っています。同所によると、アジア地域からの訪日客が違法に持ち込もうとしたソーセージから、アフリカ豚熱の生きた病原体の検出された事例が、これまでに4例報告されています。

令和6年は1月から11月までの時点で、入国者が持ち込んだ違法畜産物は18万3,930件と、昨年に続き過去最多を更新しました(図1)。また、不正持ち込みの国別割合では、中国(25.9%)、韓国(16.9%)、フィリピン(6.0%)、タイ(5.2%)と、アジア4か国が上位を占める結果となりました(図2)。

今後も、中国、韓国など東アジア地域からの旅行者の増加が見込まれます。国際連合食糧農業機関(FAO)からも、アフリカ豚熱の感染拡大リスクが高まることについて警告が出されました。アフリカ豚熱の病原体が検疫をすり抜ける万一の事態に備えるためにも、引き続き農場における飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。また、外国人従業員を雇用する畜産農家におかれましては、従業員が携帯品や国際郵便で畜産物を国内に持ち込むことのないよう、あらためて周知徹底をお願いします。

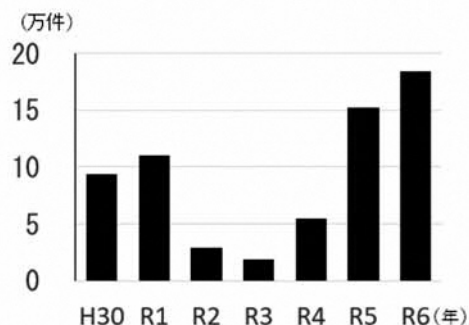


図1 海外からの旅行者携帯品不合法件数 ※R6は11月までの件数

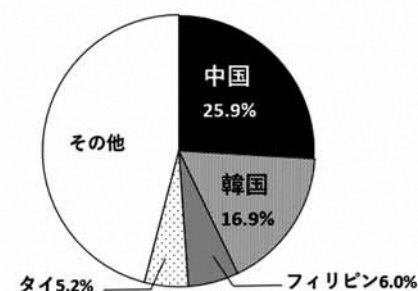


図2 不正持ち込みの国別割合 (R6年1月から11月)

(西部家保防疫課 竹元係長)

令和6年度富山県畜産関係業績・成果発表会 概要

令和6年度富山県畜産関係業績・成果発表会演題名は以下のとおりです。（関連記事1ページ）

家畜保健衛生所（○：第66回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会選出演題）

番号	演題名	家保	発表者
1	飼養衛生管理基準の遵守徹底にも繋がる農場HACCP構築支援	西部	米澤 史浩
2	黒毛和種の卵胞発育に注目した過剰排卵処置方法の検討	東部	柳 直人
3	牛伝染性リンパ腫清浄化にむけた伝播リスク要因の分析と取り組みについて	東部	田知 慶久
4	豚肺虫症を再発した放牧養豚場における寄生虫の環境調査	西部	穴田 美佳
5	農業高校における山羊の飼養衛生管理基準に基づく指導	東部	古林 梨紗
○6	集合施設の設営から運営までを実践的に取り組んだ地域防疫演習	西部	増永 梢
7	県内野生いのししにおける豚熱感染要因分析	東部	藤井 晃太郎
8	一養豚農場で再発生した豚繁殖・呼吸障害症候群	東部	先名 雅実
○9	県内養豚農家で分離されたMRSAの細菌学的解析	東部	竹中 悠人
10	管内採卵鶏農場の大雛で発生した鶏脳脊髄炎	西部	長澤 健太
○11	管内で発生した山羊の肝コクシジウム症	東部	山口 香菜

農業技術課広域普及指導センター

1	次世代につなげる持続可能な畜産～GAP伝道師は高校生～	樋口 愛里
---	-----------------------------	-------

農林水産総合技術センター畜産研究所

1	ゲノミック評価と受精卵移植技術を活用した繁殖牛群高能力化技術の開発	駒井 周太朗
2	子実用トウモロコシの効率的な栽培体系の確立	五箇 大成

家畜保健衛生所の発表のうち、第66回東海・北陸ブロック家畜衛生業績発表会に選出された3題の概要は以下のとおりです。

＜演題番号6＞これまで特定家畜伝染病が発生した際に迅速に対応できるよう防疫演習を実施してきたが、集合施設の設営演習と防疫作業者の防疫作業演習は別々に行ってきた。今回は、実際に設定されている集合施設において、会場設営から防疫作業者を交えた防護具の着脱工程等の運營業務まで一連の実践的な地域防疫演習を行った。その結果、設営から運営まで担当者が自主的に従事することにより、各自の役割や必要性を再確認でき、当事者意識が高まった。また、実際の人数を想定した防疫作業従事者を交えた運営を行うことで、各工程の課題等を関係者で共有することができ、今後のよりよい集合施設の運営体制の構築につながった。

＜演題番号9＞ペニシリン系を中心に多剤耐性であるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（以下、MRSA）は、宿主への日和見感染により重篤な症状を示す危険性がある。近年、豚におけるMRSA保有率が世界的に増加しており、死者も報告されている。そのため、養豚農家においてモニタリングをする重要性が高まっているが、本県では調査歴がないことからMRSAの保有状況について県内初となる調査を行った。その結果、MRSAが県内に一部浸潤していることが確認され、分離菌の解析結果から国内主流株に類似していると判明。飼養状況から個体の定期的な県外導入がMRSA侵入リスクを高める可能性が考えられた。今後も引き続き県内家畜のMRSA浸潤状況や流行株の動向を把握する必要がある。

＜演題番号11＞肝コクシジウム症は、胆管上皮にコクシジウムが寄生することにより肝機能障害を含む消化器症状を呈する疾患で、よく知られているウサギ以外には国内では牛のみ報告されている。今回、県内で飼養されていた山羊が突然死し、病性鑑定を実施したところ、肝臓の小葉間胆管に様々なステージのコクシジウムが確認されたことから、国内で初めて山羊の肝コクシジウム症と診断した。種の同定のため分子生物学的検査を実施したところ、*Eimeria ninakohlyakimovae*と相同性が最も高いことが分かり、現在、糞便オーシストの形態学的検索を実施中である。山羊の*Eimeria*属の病原性については情報が少ないことから、本症例のさらなる検索や症例の蓄積が必要である。

（西部家保環境課 粕谷課長）

牛乳消費キャンペーン「牛乳祭 in 銭湯」が開催されました

1月は冬休みなどで学校給食が休みになる期間が長く、また、寒さが厳しい時期で家庭でも牛乳を飲む機会が減ることから、牛乳の消費量が落ち込む時期です。そのため、牛乳の消費拡大・PRを行うことで、飼料、燃料等の価格高騰で経営が厳しい酪農家とともに燃料費等の高騰で苦しむ銭湯をあわせて支援することを目的に、富山市及び富山市乳牛協会が主催し、牛乳消費キャンペーン「牛乳祭 in 銭湯」が開催されました。

これは1月の毎週土曜に、富山市内の牛乳消費キャンペーンに協力する一般公衆浴場23か所で、富山市内の乳業メーカーの200ml入り紙パック（あわせて毎週4,600本）を、入浴に訪れた利用客に無料で提供したものです。

心身ともぼかばかになったお風呂上りに、地元の新鮮な美味しい牛乳を満喫でき、利用客からは大変好評でした。これを機会に県産牛乳の愛飲家が増え、消費拡大につながっていくことを期待しています。（西部家保環境課 粕谷課長）



ランピースキン病 国内の発症頭数ゼロに

ランピースキン病は、令和6年11月6日に国内で初めて福岡県で発生が確認されて以降、福岡県19農場、熊本県3農場で発生し、疑症を含め累計230頭の牛で発症が確認されました。発症牛の自主的とう汰、隔離、ワクチン接種等の対応が進められた結果、令和7年1月23日時点で発症頭数が0頭となり、2月4日現在、新たな発症の報告はありません。

しかしながら、本病の病態については不明な点が多く、主な感染経路とされる吸血昆虫が活発化する春先以降に、感染拡大リスクが高まる可能性も示唆されています。農家の皆様におかれましては、引き続き、本病の早期発見、早期連絡および飼養衛生管理の徹底をお願いします。

（西部家保防疫課 飯田課長）

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ（法定伝染病）

（2月5日現在）

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養羽数	血清型
21	令和7年1月7日	鹿児島県霧島市	肉用鶏	約12.0万羽	H5N1
22	1月9日	愛知県常滑市	採卵鶏	約13.6万羽	H5N1
23	1月10日	愛知県常滑市	採卵鶏	約5.7万羽	H5N1
24	1月10日	愛知県常滑市	採卵鶏	約11.2万羽	H5N1
25	1月11日	宮崎県串間市	肉用鶏	約3.0万羽	H5N1
26	1月11日	岩手県盛岡市	採卵鶏	約40.4万羽	H5N1
27	1月11日	愛知県常滑市	採卵鶏	約1.7万羽	H5N1
28	1月12日	千葉県銚子市	採卵鶏	約40.8万羽	H5N1
29	1月15日	千葉県銚子市	採卵鶏	約40.8万羽	H5N1
30	1月16日	愛知県常滑市	採卵鶏	約8.3万羽	H5N1
31	1月16日	千葉県旭市	採卵鶏	約3.7万羽	H5N1
32	1月18日	千葉県旭市	採卵鶏	約47.8万羽	H5N1
33	1月19日	愛知県半田市	採卵鶏	約12.6万羽	H5N1
34	1月19日	愛知県半田市	採卵鶏	約20.6万羽	H5N1
35	1月19日	愛知県常滑市	採卵鶏	約5.9万羽	H5N1
36	1月19日	愛知県阿久比町	うずら	約25.4万羽	H5N1
37	1月19日	千葉県銚子市	採卵鶏	約28.0万羽	H5N1
38	1月19日	千葉県銚子市	採卵鶏	約36.3万羽	H5N1
39	1月19日	千葉県旭市	採卵鶏	約1.7万羽	H5N1
	関連農場	同上	採卵鶏	約11.7万羽	—
	関連農場	同上	採卵鶏	約1.7万羽	—
40	1月21日	愛知県常滑市	採卵鶏	約12.7万羽	H5N1

（次ページに続く）

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養羽数	血清型
41	1月22日	岩手県盛岡市	採卵鶏	約35.8万羽	H5N1
42	1月22日	岩手県盛岡市	採卵鶏	約30.4万羽	H5N1
43	1月24日	千葉県銚子市	採卵鶏	約39.0万羽	H5N1
44	1月28日	千葉県旭市	肉用鶏	約7.9万羽	H5N1
45	1月28日	千葉県銚子市	採卵鶏	約24.0万羽	H5N1
46	1月28日	千葉県匝瑳市	採卵鶏	約22.0万羽	H5N1
47	1月29日	千葉県旭市	採卵鶏	約3.5万羽	H5N1
48	1月31日	愛知県半田市	採卵鶏	約42.5万羽	H5
49	1月31日	千葉県旭市	肉用鶏	約7.7万羽	H5
50	1月31日	千葉県匝瑳市	採卵鶏	約8.1万羽	H5
51	2月1日	千葉県旭市	採卵鶏	約9.0万羽	H5

豚熱（法定伝染病）（2月5日現在）

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備考
95	令和7年1月23日	群馬県前橋市	一貫	約4,800頭	

令和6年（2024年）シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況（令和7年1月1日～2月5日）

事例	回収日	場所	種名
90～112事例	12月24日 ～ 1月28日	北海道：えりも町・根室市・函館市／青森県：五所川原市／岩手県：花巻市／埼玉県：東松山市／愛知県：常滑市／高知県：安芸市／鹿児島県：曾於市、出水市	ハシブトガラス、ハシボソガラス、オオタカ、ノスリ、オシドリ、ヒドリガモ、ナベツル、環境試料（水）

県内の主な家畜伝染性疾患の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛パストツレラ症と肝膿瘍	牛	12月2日	1	1	
牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	牛	12月11日	1	1	
豚増殖性腸炎と豚鞭虫症と豚肺虫症	豚	12月16日	1	1	
豚丹毒（届出伝染病）	豚	1月9日	1	1	と畜場発見
	豚	1月10日	1	1	
	豚	1月14日	1	4	
	豚	1月16日	1	1	

県内における野性のしし豚熱 PCR 陽性事例（令和6年12月26日～令和7年2月5日検査実施分）

	発見状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	令和6年12月25日	南砺市利賀村高沼地内	成獣	雄
2	捕獲	12月25日	南砺市利賀村高沼地内	成獣	雌
3	捕獲	12月27日	氷見市中村地内	成獣	雄
4	捕獲	12月27日	高岡市福岡町加茂地内	成獣	雄
5	捕獲	令和7年1月5日	南砺市利賀村利賀地内	成獣	雄
6	捕獲	1月5日	〃	成獣	雌
7	捕獲	1月13日	富山市八尾町清水地内	成獣	雄
8	捕獲	1月30日	富山市寺家地内	成獣	雄

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
北陸三県和牛子牛市場	2月27日	北陸三県家畜市場（金沢市）

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
〒939-3536 富山市水橋金尾新46 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140
編集者 粕谷 健一郎（富山県西部家畜保健衛生所）
○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

